



2022年度（2023年3月期）

第2四半期決算 補足説明資料

2022年11月10日

ぴあ株式会社

東京証券取引所プライム市場

証券コード：4337

[1]2022年度第2四半期 決算について

- 1)決算のポイント**
- 2)売上高(旧基準)の推移**
- 3)営業利益の推移**
- 4)通期業績の想定**

[2]上半期の主な取り組み



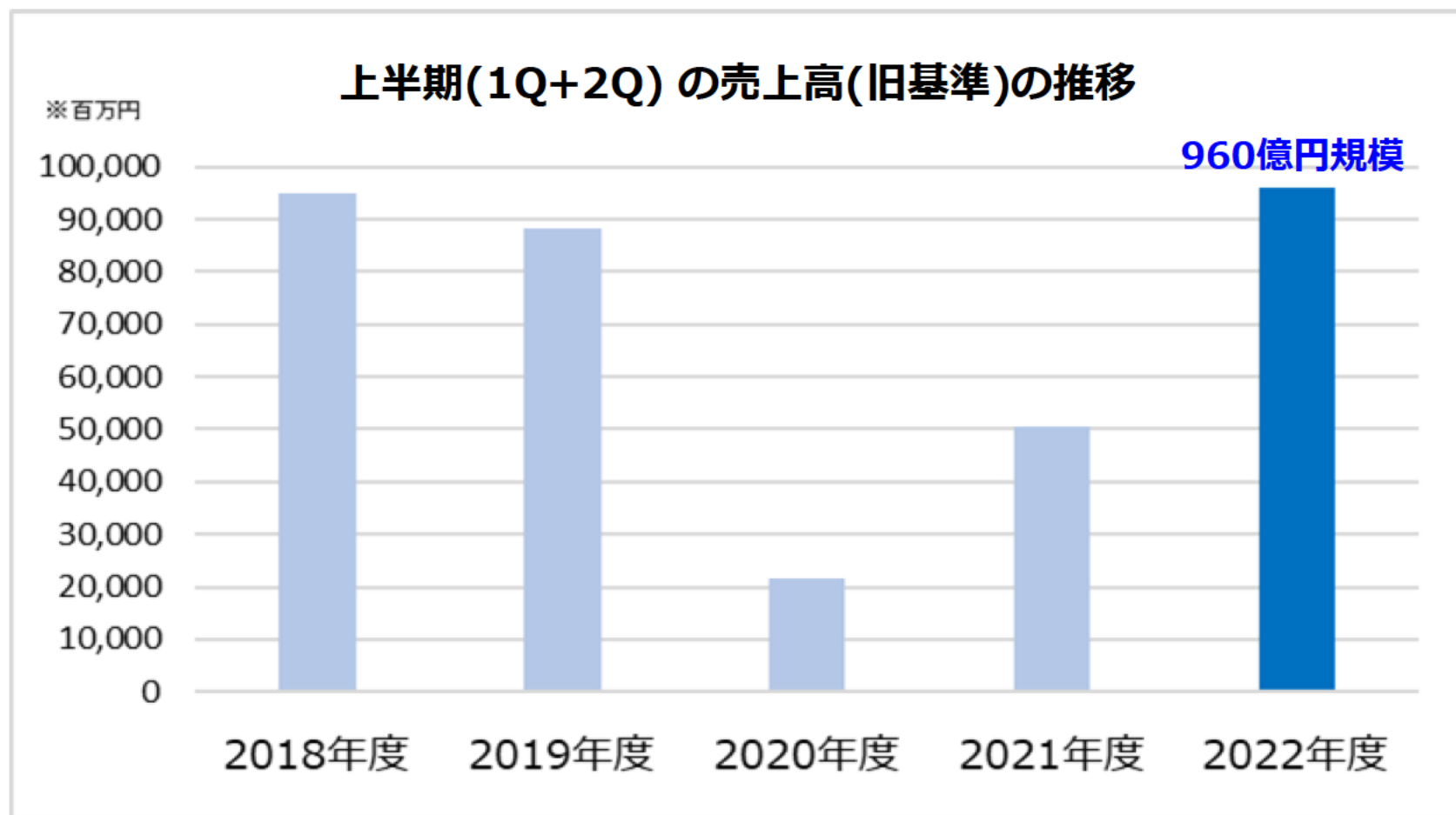
1) 決算のポイント

- ◆集客エンタテインメント市場は、多くのイベントが収容率100%の開催に転じ、外国人の入国規制の緩和等を受け、来日公演も増加しており、復調に転じています。
- ◆第1四半期に続き、音楽公演の全国ツアーや大規模フェス、プロスポーツの国際大会等の大型案件が続々と開催され、市場の回復に加え、獲得案件数の増加、公演ごとの単価が上昇したことにより、チケット販売も好調に推移しました。
- ◆加えて、ぴあアリーナMMの稼働日数が増加傾向にあること、出版では、前期商品が引き続き好調であることにより、「収益認識に関する会計基準」を適用しなかった場合の売上高(旧基準)は960億円規模となり、過去最高を記録した2018年度第2四半期累計期間の売上高950億68百万円を上回る水準となりました。



2) 売上高(旧基準)の推移

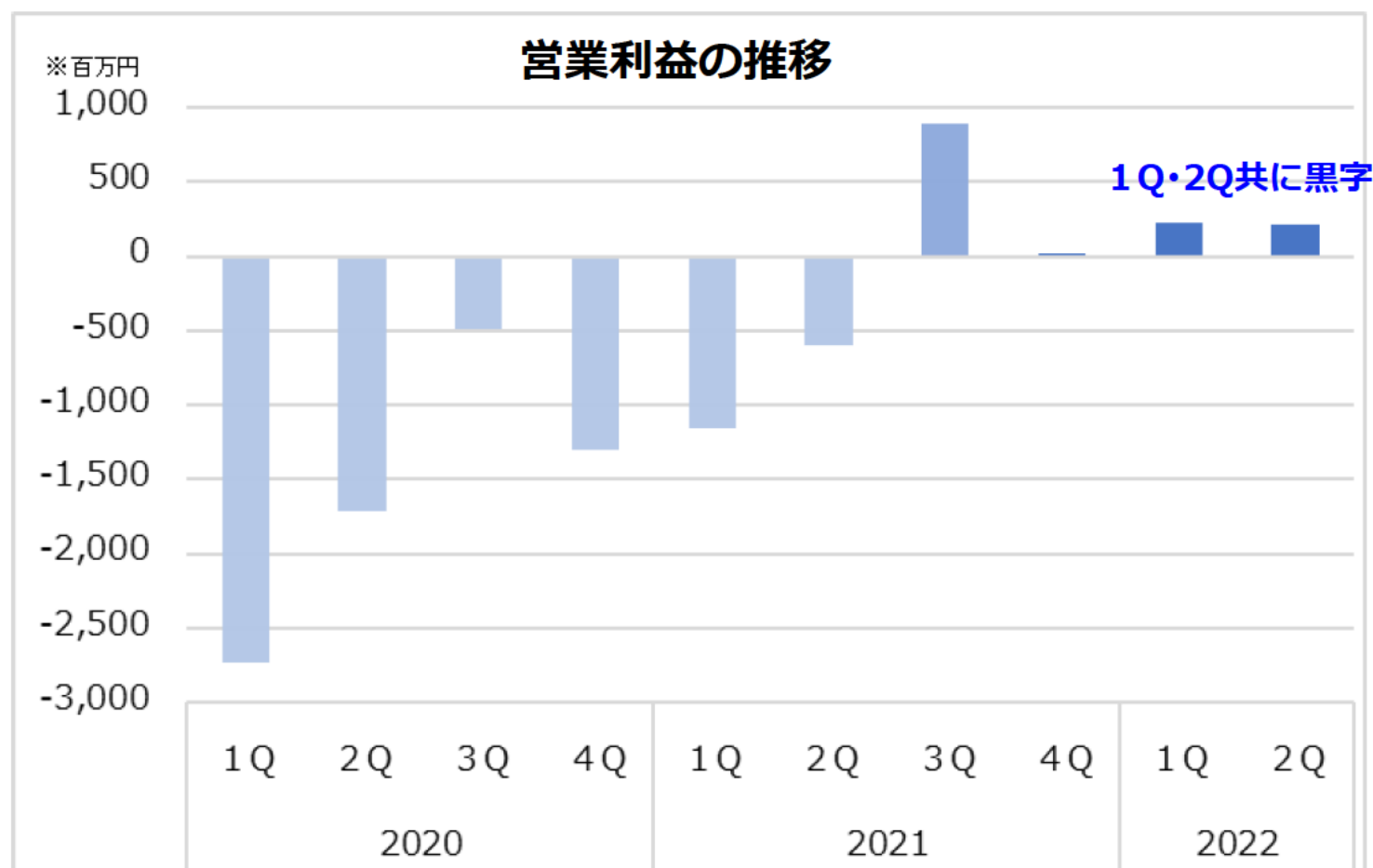
- ◆コロナ禍による抑制期からの反動消費に伴い、海外アーティスト等の大規模興行の発売が集中、人気公演のチケット単価も上昇し、売上高(旧基準)は、2018年度上半期の約951億円を上回る**960億円規模**に。





3) 営業利益の推移

◆集客エンタテインメント市場の回復基調を受け、チケット販売や興行の主催、ぴあアリーナMMの稼働率等が好調に推移し、第1四半期に続き黒字を維持。



※2021年度の1Qより新会計基準によるが、2020年度までの旧会計基準との差額は軽微

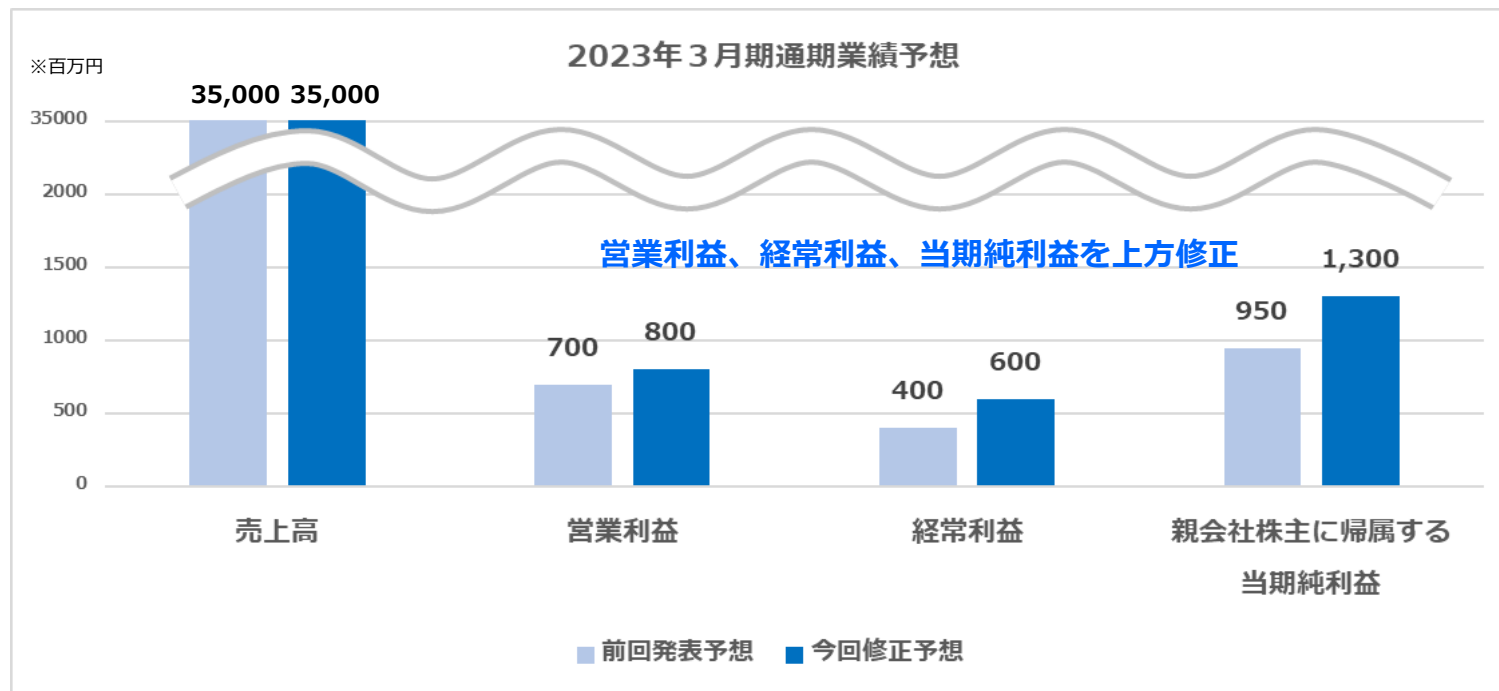


4) 通期業績の想定

◆集客エンタテインメント市場の回復基調により、チケット販売や興行の主催、アリーナの稼働率等が好調に推移。加えて、関係会社の持分損益が改善し、キャッシュ・フローが良化したことで、支払利息が減少しました。また、繰越欠損金の控除上限の特例措置の適用が認められ、繰延税金資産が計上可能となることで、当期純利益の改善が見込まれます。

こうした概況をふまえ、2022年8月12日公表の通期業績予想は、営業利益、経常利益、当期純利益において上方修正いたしました。なお、売上高は、新収益認識会計基準の適用により、主にチケット売上高が、従来の取扱高から手数料収入に変更されたため、今回の修正はありません。売上高(旧基準)ベースでは、当初見込みの約1,600億円から、1,800億円を上回る規模への増加を見込んでいます。

※詳細につきましては、2022年11月10日発表の「通期連結業績予想の修正のお知らせ」をご参照ください。



[2]上半期の主な取り組み

～当社主催50周年関連イベントも続々開催～



◆万全の感染防止対策を講じた上で、ぴあ創業50周年を記念したイベントが多数開催されました。当社ならではのバリューチェーンを活かし、今後も主催イベントを拡大していく予定です。



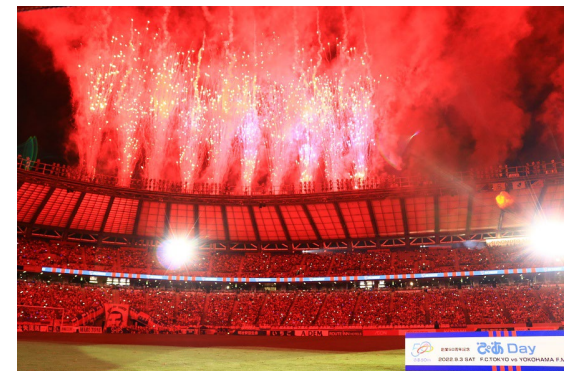
写真・加藤千絵(CAPS)

ぴあ50th Anniversary
MUSIC COMPLEX SPECIAL EDITION
(@ぴあアリーナMM) 7/9開催



©日刊スポーツ新聞社

神宮外苑花火大会
8/20開催



J1リーグ FC東京vs横浜F・マリノス
創業50周年記念 ぴあDay
(@味の素スタジアム) 9/3開催



プロ野球 パ・リーグ「ぴあDAY」
福岡ソフトバンクホークス vs 埼玉西武ライオンズ
(@福岡PayPayドーム) 9/14開催



Photo: 深野輝美

PIA MUSIC COMPLEX 2022
-ぴあフェス- (@若洲公園)
10/1・2開催



ぴあ演劇学校
(@TOKYO FMホール)
10/1・2開催

[2]上半期の主な取り組み

～業務・資本提携による連携の強化～



◆三菱地所との合併会社「MECぴあクリエイティブ株式会社」を設立

「集客エンタテインメントと街づくりの一体化を進める」ことを目的に、2021年5月に業務・資本提携を締結。さらなる協業を推進すべく、今年5月に合併会社を設立しました。ぴあの得意領域とするエンタテインメントと、三菱地所の街づくりのノウハウを融合し、両社の既存領域にとらわれない、独創的な事業を創出してまいります。



◆朝日新聞社が参画「ぴあ朝日ネクストスコープ株式会社」として新体制に

長きにわたり、エンタテインメントジャンルの広告タイアップを展開してきた朝日新聞社と新たなソリューション施策を提供すべく発足。

ぴあが持つ、自社データを活用したデジタルマーケティングと、多数の媒体と顧客基盤を抱える朝日新聞社の強みを融合させ、これまで世の中になかった独自の価値を生み出し、事業成長の最大化を目指します。



[2]上半期の主な取り組み

～新しい取り組み～



◆XR事業を本格化

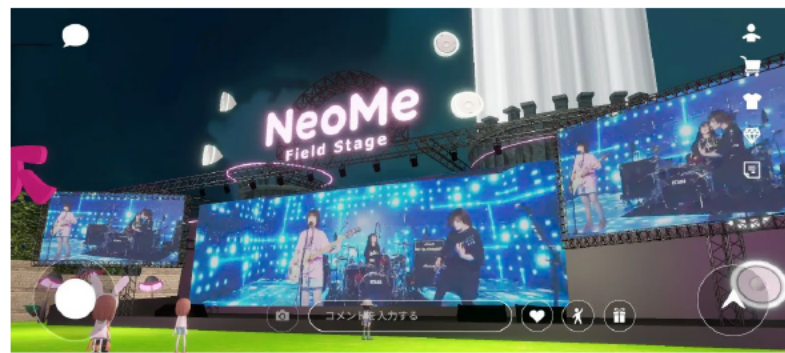
XRコンテンツ専門の収録スタジオ「HANEDA xR STUDIO」に出資参画、当社が製作を担った人気アニメ「進撃の巨人」主題歌のミュージックビデオは約3000万回再生を記録(10月末時点)。9月には最新技術を駆使したXRライブも実施しました。



SiM「The Rumbling」ミュージックビデオより
<https://www.youtube.com/watch?v=GDtXtIgm8M8>

◆バーチャルライブアプリ「NeoMe」

アバター&バーチャル空間で新感覚ライブや交流が楽しめるスマホアプリ。5月末には第1弾として、ロックバンド「ヤバイTシャツ屋さん」の最新のXR技術を使ったメタバースライブを実施、アーカイブ配信を含め約7000人が参加。



バーチャルライブの第1弾「NeoMe Live Vol.1」

◆メディアコンテンツ事業が好調、大ベストセラーも誕生

「ジェイソン流お金の増やし方」が発売1年たたずに55万部を突破(電子書籍を含む)。TVなどメディアでも大きく取り上げられ「2022 TSUTAYA BOOKS年間ランキング総合部門1位」、「オリコン2022 上半期BOOKランキング1位」を獲得しました。



55万部
(電子書籍含む)

[2]上半期の主な取り組み

～CSR(社業を通じた社会的活動)～



◆「チームスマイル」活動は発足より11年、年内で活動を終了予定

東日本大震災の直後に、「エンタテインメントによる心の復興支援」を目的に設立された一般社団法人チームスマイルは、今年いっぱい活動を終了します。4つのPITは、そのままの名称で今後も継承され、「豊洲PIT」と「仙台PIT」は、当社所有のホールとして今後も運営してまいります。



豊洲PIT



仙台PIT

◆ぴあ総研主催のシンポジウムを初開催

創業50周年に際し、初のシンポジウム「集客エンタメ産業による日本再生の意義」を開催(2022年5月19日)。様々な業界の方々にご来場いただき、集客エンタメ産業の豊かな将来性と経済性、そして持続可能な社会に向けた役割の大きさについて、各界トップから熱い期待が寄せられました。また、ぴあ総研が調査/編集を行った『2022 ライブ・エンタテインメント白書』が、10月7日に発刊されました。



集客エンタメ産業による日本再生の意義

2022.5.19(木) 14:30~17:15 13:30開場

会場: チームスマイル・豊洲PIT

参加費: 10,000円